

行政評価シート(事後評価)

コード (56) 6-2-12	事務事業名 高齢者地域見守り事業(ささえあいネットワーク)	所管部課 福祉部高齢者支援課(旧保健福祉部高齢者支援課)
--------------------	----------------------------------	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等	
	一人暮らし高齢者及び高齢者のみで構成されている世帯などが地域の中で互いに支え合いながら安心して生活していかれるよう、高齢者が具合が悪くなったとき等の早期発見、連絡、緊急対応などをできるようネットワークを構築・活用することにより、高齢者の緊急事態に対応することを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等		
	見守りを必要とする高齢者の実態を把握し、市内の社会資源を活用し、ネットワークづくりを行う。 高齢者が安全に生活できているか、外からさりげなく見守りながら、もし緊急事態を発見したとき、ささえあい協力員(無償)、協力団体(新聞販売所、郵便局など、無償)、民生委員、地域包括支援センター、市(高齢者支援課)が連絡・連携しながら必要な対応を行う。都から福祉改革推進事業費補助金(基準額の50%)を交付されている。		
事業開始時期	16年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)		714	473	775	1,076
財源: 国庫支出金・都支出金	千円				
地方債					
内: その他 ()					
財源: 一般財源		714	473	775	1,076
東京都包括補助	千円	957	832	1,009	1,205
所要人員(B)	人	0.31	0.63	0.24	0.21
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,582	5,157	1,959	1,714
臨時職員等賃金(C')	千円	1,200	1,190	1,243	1,334
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	4,496	6,820	3,977	4,124
単位当たりコスト					
(E)=(D) / (協力員・協力団体)	千円	14.6	19.9	11.0	#DIV/0!

活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
相談件数	実績値 件	182	316	173	
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など)					
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
一 次 協力員・協力団体数	目標値 人				
	実績値 人	308	342	362	
二 次 発見報告件数	目標値 件				
	実績値 件			39	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 発見報告件数は18年度から集計					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	協力員アンケート(163通)で、高齢者の様子を遠目から見守っている人が76.5%、困っている高齢者がいたときに簡単な手伝いをしてほしい人が34.4%、高齢者虐待に関心がある人が57.6%であった。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 都内で同種の事業を行っており、見守りを基本としている。小平市では70歳以上のひとり暮らしの方(300人)に週3回ヤクルトを配達し安否確認等をし、清瀬市では65歳以上の特定の高齢者にふれあい協力員(65人)が月1回訪問し安否確認をしている。方法は様々だが、本市は、地域の協力員等のボランティア活動に期待をしている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ふれあいのまちづくり事業(社協); 地域の住民参加により、安心して暮らせる福祉のまちづくりに取り組んでいる事業で、小学校区単位で活動している。

訂正箇所・・・「特に高齢者の安否確認等見守りの機能はない。」を削除しました。

コード (56) 6-2-12	事務事業名 高齢者地域見守り事業(ささえあいネットワーク)	所管部課 福祉部高齢者支援課(旧保健福祉部高齢者支援課)
--------------------	----------------------------------	---------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>高齢者が安全に生活できているか、外からさりげなく見守りながら、もし緊急事態を発見したとき、ささえあい協力員(無償)、協力団体(新聞販売所、郵便局など、無償)、民生委員、地域包括支援センター、市(高齢者支援課)が連絡・連携しながら必要な対応を行うこととしているが、個人情報保護の観点からうまく推進できない課題がある。また、協力員の中で意識の差があり、見守りだけでとどめるか、訪問・相談などの機能を持ってほしいか、諸般の事情を考慮し検討する必要がある。(認知症高齢者サポーターなど)</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>協力員、協力団体等の育成にあたっては、見守りによる地域防災への効果も視野に入れながら、当面、協力員の職務範囲を明確化する必要がある。併せて、研修の見直しや民生委員や市民団体との枠組みづくり等により、効果的な事業の実施に向け検討されたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業については、二次評価記載のとおり、協力員による対応が同水準になるよう指導・研修等の実施を検討し、市民団体や民生委員との協力を強化し、より効果的な連携の仕組みづくりに向けて努力されたい。</p>